

平成 30 年度 学校評価 学生との懇談会

富士吉田市立看護専門学校
自己点検・自己評価委員会

1.目的

本懇談会は学校評価の一環として、学則 32 条“自己点検及び評価”に基づき、学校における教育活動の状況について、自ら点検及び自己評価を行うために開催し、今後の学校運営に活かすことを目的とする。

2.日時

平成 31 年 2 月 13 日（木）14：43～16：20

3.参加者

1) 教職員

樫本校長、中田副校長、庶務課大石課長、庶務課諸藤、渡邊なおみ科長、渡邊貴子実習調整者

2) 学生代表

①自治会代表 3 名

②学年代表：各学年 2 名ずつ

3) 運営

司会：佐藤 書記：瀧口 （自己点検・自己評価委員）

4.懇談会までの状況

平成 30 年 12 月に全学生を対象に学校満足度・学生実態調査を実施。平成 31 年 1 月に学生から「よりよい学校づくりのために協力できること」の意見を含めた満足度調査の結果をまとめ、学内に掲示した。満足度調査への学生からの意見、要望について庶務課、看護科からの解答を検討した。この内容をもつての懇談会とした。

5.懇談会プログラム

① はじめのことば（委員）

② 校長挨拶

③ 懇談会の目的・方法の確認（委員）

④ 調査結果をふまえた意見交換

より良い学校にするための学校の取り組みについて（庶務課課長、看護科科长、実習調整者）

より良い学校にするための学生の取り組めることについて（学生から）

⑤ 副校長挨拶

⑥ おわりのことば（委員）

6.懇談会実施状況

1) 満足度調査結果をふまえて、下記の内容で意見交換が行われた。

「施設・設備に関すること」

「学習支援に関すること」

「学内学習に関すること」

「学生のアルバイトに関すること」

「進路支援に関すること」

「実習に関すること」

2) よりよい学校づくりのための取り組みについて学生からの意見

懇談会のなかで、「学生から他学年との交流や関係性を築いていきたい」との意見があった。理由として先輩の経験談を聞く機会になり、就職・進学についても相談しやすい関係が出来て、学生間での繋がりが強化される。こういった活動が「よりよい学校づくり」にも繋がっていくのではないかと意見が交わされた。また、学習支援担当や学内学習時間の有効な使いかたについても学生からの意見が多数あった。学校側としても学生からの貴重な意見を活かした運営をしていきたい。

7.学生との懇談会を終えて

今年度で3回目の懇談会を開催できた。昨年度から“学生満足度・実態調査”に「より良い学校づくりのためにあなたが協力できること」を追加してアンケート集計している。学生から“施設や物品を大切に扱う”や“学習に向かう姿勢”等の意見が記載されており、学生自治会や各クラスで「より良い学校づくり」について考える機会となった。また今年度は、満足度調査の結果を各教室に掲示し閲覧する機会を増やすことで、学生1人1人が「より良い学校づくり」について、他の学生の意見も踏まえて意識が持てたのではないかと推察する。

懇談会での学生の意見は、これからの「よりよい学校づくり」にとってとても貴重である。教職員はこの学生の意見を柔軟に対応できる体制づくりに努めていくと共に、教職員だけではなく学生が主体的に「よりよい学校づくり」に参加していくことが、これからの学校づくりに求められていく。

そのため、懇談会という貴重な機会を、今後も継続して開催していきたい。